

Quinta da Serradinha キンタ・ダ・セツラディーニャ





ポルトガルワインの取り扱いの決め手ともなった、アントニオ・マルケスシュ・ダ・クルスの赤ワイン。現在アントニオが管理している2.5haの畑は、その祖父と父によって植えられたものです。父は1976年からビオロジック栽培で手入れをしていました。認証取得は1994年で、ポルトガルで初めてビオ認証を交付されました。

アントニオ自身は経済学を学び、別の業界で働いていました。しかし、父親が造ったセツラディーニャ1989年を同年に飲んだとき、初めてワインの奥深さを感じたと、アントニオは言います。“ワインは感情に訴えかけるものだ”、と。そして、プロとしてワイン造りをしようと真剣に考えだしました。

彼の父親は、ボルドースタイルの体躯の大きいワインを好んで造っており、それに合わせてセラーを拡張し、近代的な醸造設備をそろえました。しかし、アントニオはそれらの設備を全て廃し、祖父の造っていたような、酸を活かしたスリムな味わいがする、地域に根差したワイン造りを再開しました。

各ボトルには、ビオロジック栽培の畑に生息するテントウムシをかたどったものが、カプセルの代わりにコルクの上に張り付けられています。

コズ・デ・コジニエイロシュは、ポルトガルで著名なテイスター・ブロガーであり、現在バイラーダ地方でワインを造るティアゴ・テレスとの共同プロジェクトで、素晴らしい畑を所有している、一家との出会いから、始まったプロジェクト。その一家からの買いブドウを、アントニオとティアゴ、二人で考えながらワイン造りをしている。

●COZs de Cozinheiros vp Vital コズ・デ・コジニエイロシュ・ヴェーパー・ヴィタル			
	畑 品種：ヴィタル100% 植樹：1990年代 土壌：石灰岩土壌	醸造 数日間マセレーション 1年間樽熟成	備考 コズ・デ・コジニエイロシュは、ポルトガルで著名なテイスター・ブロガーであり、現在バイラーダ地方でワインを造るティアゴ・テレスとの共同プロジェクトで、素晴らしい畑を所有している、一家との出会いから、始まったプロジェクト。その一家からの買いブドウを、アントニオとティアゴ、二人で考えながらワイン造りをしている。 大西洋沿岸、高地で栽培されることの多い、ヴィタル種は収量も取りやすいが、その高い酸が特徴で、しばしばブランデー用にも蒸留されてきた。 マセレーションを数日しているが、もともと果皮の色素の薄い品種であるので、通常の白ワインと色合いは変わらない。高い酸が特徴だが、無濾過、シュールリーならではの、あじわいがある。
●Vinho Tinto ヴィーニョ・ティント（白ラベル）			
	畑 品種：カシュテラン70%、トゥリガ・ナシオナル20%、ティンタ・ミウダ10% 植樹：1990年代 位置：標高120m、南向き 土壌：石灰岩土壌	醸造 解放桶で1週間マセレーション 1年間樽熟成 数カ月ステンレスタンク熟成	備考 酸が高く、タンニンも強く、野生的な味わいになりがちなポルトガルの赤ワインだが、果実をしっかり成熟させ、抽出を強くしすぎず、ワインが落ち着くまで熟成期間を設けることで、しなやかな酸とすっきりとした飲み心地を持っている。
●Vinho Tinto ヴィーニョ・ティント（オレンジラベル）			
	畑 品種：バガ50%、カシュテラン25%、トゥリガ・ナシオナル15%、アルフロシェイロ10% 植樹：1950年代、1990年代 位置：標高120m、南、西向き 土壌：石灰岩土壌	醸造 解放桶で10日間マセレーション 2年間樽熟成 半年以上ステンレスタンク熟成	備考 酸が高く、タンニンも強く、野生的な味わいになりがちなポルトガルの赤ワインだが、果実をしっかり成熟させ、抽出を強くしすぎず、ワインが落ち着くまで熟成期間を設けることで、しなやかな酸とすっきりとした飲み心地を持っている。 アントニオの祖父が植えた、ワイナリーで一番古い畑のブドウを半分使っており、その分、他の赤ワインよりも、熟成期間を長くしており、更なる深みを探している。
●COZs de Cozinheiros c2-baga コズ・デ・コジニエイロシュ・スィー・ドイシュ・バガ			
	畑 品種：バガ主体 植樹：1970年代 土壌：石灰岩土壌	醸造 解放桶でマセレーション 1年以上樽熟成	備考 コズ・デ・コジニエイロシュは、ポルトガルで著名なテイスター・ブロガーであり、現在バイラーダ地方でワインを造るティアゴ・テレスとの共同プロジェクトで、素晴らしい畑を所有している、一家との出会いから、始まったプロジェクト。その一家からの買いブドウを、アントニオとティアゴ、二人で考えながらワイン造りをしている。 ティアゴとのプロジェクトを始めるきっかけにもなった、樹齢50年を超える、バガの木々の畑。酸とタンニンの強いバガ品種をゆっくりと時間をかけて醸造。